



青森県基本計画

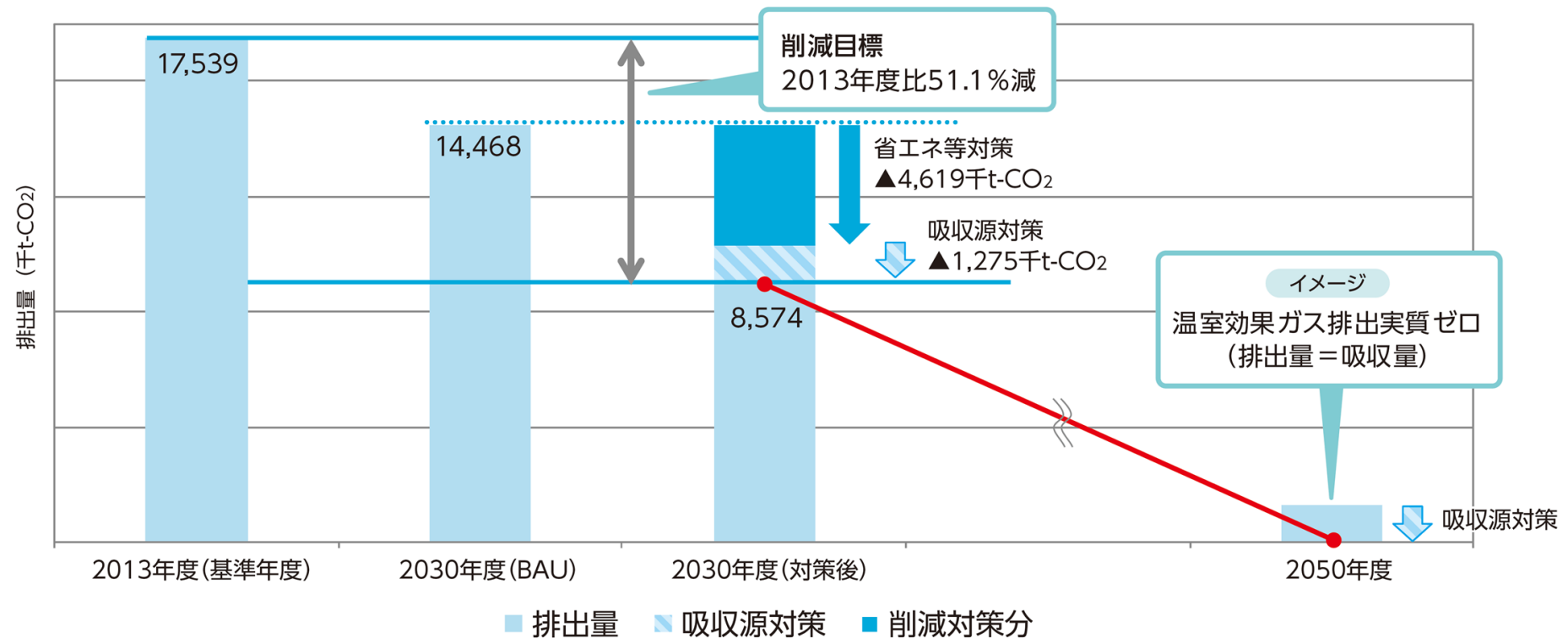
「青森新時代」への架け橋

青森県脱炭素化・カーボンニュートラル関連 設備導入支援事業費補助金の活用事例について

本県の温室効果ガスの削減目標

2030年度 温室効果ガス排出量 **51.1%削減**(2013年度比)

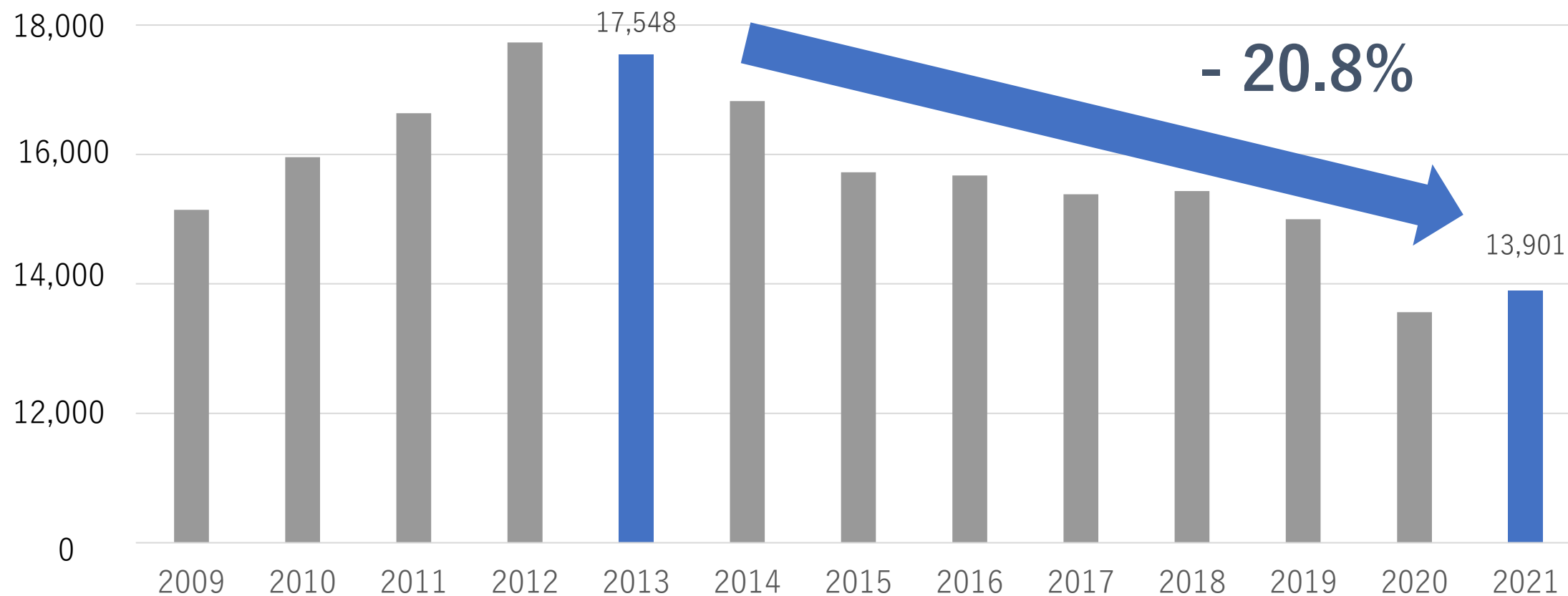
2050年カーボンニュートラル



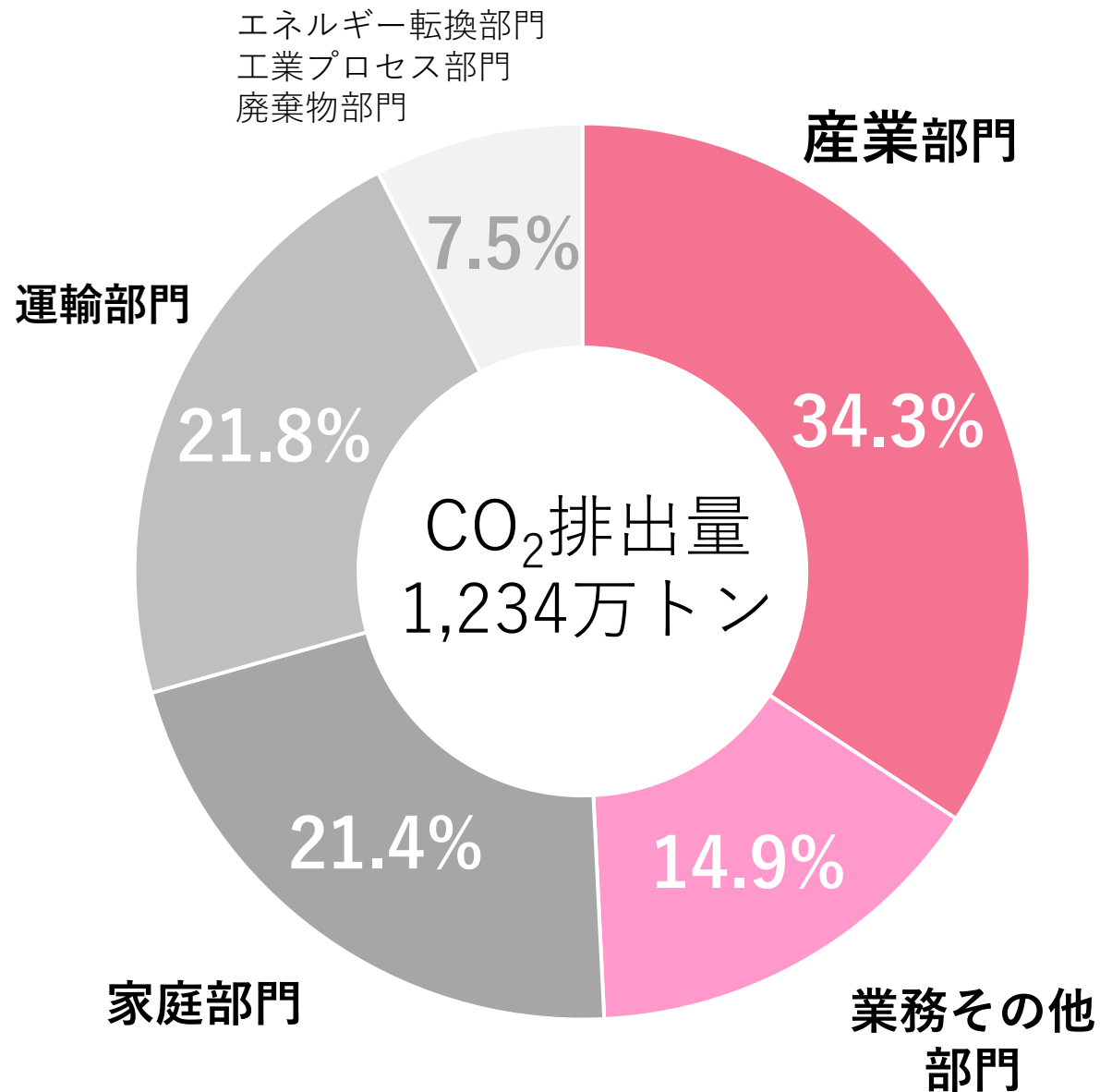
青森県の温室効果ガスの排出量（2021年度）

青森県地球温暖化対策推進計画の基準年度である2013年度比では、**20.8%**の減少。

排出量(千t-CO₂)



青森県の部門別CO2排出量



企業からの排出量 (産業部門+業務その他部門)は、
全体の排出量の約 5 割を占めている。



**県内企業の脱炭素経営の促進
のための取組が重要**

中小企業等グリーントランスフォーメーション（GX）推進事業



担当：経済産業部 地域企業支援課 中小企業支援G(3653)

中小企業等グリーントランスフォーメーション(GX)推進事業

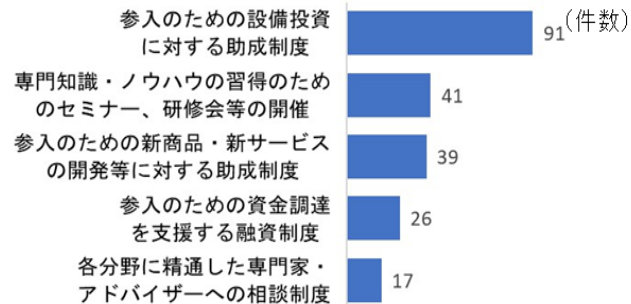
R7 155,616千円

事業の目指す姿(アウトカム)

現状 → 事業終了後の姿

- ◆世界的に脱炭素の機運が高まる中、国内外の企業がカーボンニュートラル実現を表明しており、県内中小企業を含めたサプライチェーン全体での脱炭素化を進める動きが広がっている。

取組の強化、新たな産業への参入において、有効だと思う行政の支援制度（主なもの）



※令和5年度青森県グリーン成長戦略関連産業参入可能性調査(令和6年3月)

→GXの実現に向け、県内中小企業の付加価値額を高め、コスト削減に取り組むことで労働生産性の向上を目指す。(2020年 6,871千円→年1.5%増加)

課題

- ①県内中小企業が脱炭素に向けて取り組む上で、専門知識・ノウハウの不足、対応コストが必要
- ②新製品・新サービスの開発等が必要

GX実現に向けた企業価値・競争力の強化が必要

目指す姿を実現するための取組(アウトプット)

【概要】

カーボンニュートラル実現に向けた対応を成長の機会として捉え、県内中小企業においても、脱炭素に向けた動きに遅れることなくGXを推進し、企業価値・競争力の向上を図る。

取組1 GXに向けた意識啓発

1,151千円

- ・GXに向けた意識啓発を図ることを目的に経営者層向けセミナー等を開催する。

取組2 GX経営戦略の策定、導入支援

43,740千円

(1) GX推進アドバイザー派遣 (5,880千円)

- ・GXに向けた経営戦略の策定等に関する助言を行うアドバイザーを設置・派遣する。

(2) 脱炭素化・カーボンニュートラル関連設備導入経費への補助 (37,860千円)

- ・脱炭素化と生産性向上の両立に資する設備の導入経費の一部を補助する。

【補助率：1/2、補助上限額：5,000千円】

取組3 グリーン成長戦略関連産業参入支援

110,725千円

(1) グリーン成長戦略関連産業参入に向けた理解促進 (725千円)

- ・洋上風力・太陽光産業などの成長戦略関連産業への参入に関する研修会を開催する。

(2) GX革新的技術等創出事業費補助 (110,000千円)

- ・GXの実現につながる新製品・新技術の開発経費の一部を補助する。

【補助率：1/2、補助上限額：10,000千円】

GX推進アドバイザー

(青森県委託事業)

令和7年度中小企業等GX推進支援事業

派遣費用
無料!!

GX推進アドバイザー派遣のご案内

工業会では県内中小企業者のグリーン・トランスフォーメーション（GX）を推進し、脱炭素化に向けた動きに遅れることなく企業価値や競争力の向上が図れるよう、「GX推進アドバイザー」を派遣し、GX経営戦略の策定等を支援します。

「消費電力が抑えられる先端設備導入について相談したい」、「取引先よりCO2削減が求められているが、何をしたら良いかわからない」などGXについてのご相談がありましたら、「GX推進アドバイザー」をご活用ください。

- ◆支援対象 県内に本社又は事業所を有し、GXに関心がある中小企業者
- ◆支援内容
 - ・温室効果ガス排出量の見える化
 - ・脱炭素化に向けた課題の抽出
 - ・GXへの中長期的な目標の設定
 - ・目標達成に向けた実行計画の作成（運用改善、設備投資等）
 - ・実行計画を踏まえたGX経営戦略策定に関する助言 など
- ◆申込締切 令和8年2月27日（金）【派遣期間：令和8年3月10日（火）まで】
- ◆申込方法 裏面の派遣申込書に必要事項を記入のうえ、工業会へ送付してください
- ◆派遣までの流れ



【GX推進アドバイザーの紹介】



※お名前
◆岡山 透

※肩書
【博士（工学）】

元（現）青森県産業技術センター八戸工業研究所所長

長年、県立研究機関にて企業との共同研究を通じ、「ものづくり」に関する技術開発や支援に取り組み、産業振興に貢献。電気・電子・情報技術から機械システム設計・試作・評価まで幅広い専門知識を有し、人工知能の活用においては20年以上の経験があり、自動化技術や省人、省エネ化支援を行っている。

専門分野：システム工学、機械技術、プロダクトデザイン、データマイニング

📌 令和7年度青森県脱炭素化・カーボンニュートラル関連設備導入支援事業費補助金[※]の申込みにあたっては、GX推進アドバイザーによるGX経営戦略の策定支援を受ける事で要件のひとつを満たすことができます。※補助金の詳細は工業会HPをご覧ください。

お問合せ・申込先：一般社団法人青森県工業会 事務局
〒030-0801 青森市新町2丁目4-1 県共同ビル7階
TEL：017-718-5399 FAX：017-723-1243
E-mail：system@alia-aomori.or.jp
申込書はこちらからダウンロードできます⇒ <http://www.alia-aomori.or.jp/2713.html>

<派遣実績>

令和5年度 46社

令和6年度 49社

<支援内容>

○温室効果ガス排出量の見える化

○脱炭素に向けた課題の抽出

○GXへの中長期的な目標の設定

○目標に向けた実行計画の作成

○実行計画を踏まえたGX経営戦略策定に関する助言

<主な相談内容>

○高効率設備の導入・更新

・照明のLED化

・空調・ボイラーの更新

・冷蔵庫・冷凍庫の更新

など

○作業工程の見直し

○温室効果ガス排出の見える化

○脱炭素経営に係る同業他社の取組や社会情勢

脱炭素化・カーボンニュートラル関連設備導入支援事業費補助金

令和7年度 青森県脱炭素化・カーボンニュートラル関連設備導入支援 事業費補助金のご案内

県内中小企業者のグリーン転換（GX）を推進し、企業価値や競争力の向上につなげていくため、デジタル技術を活用した生産工程等の脱炭素化と生産性向上の両立に資する設備導入に要する経費の一部を補助します。

＜補助率・補助上限額＞

補助率	補助上限額
対象経費（税抜） 1/2以内 の額	500万円

＜補助対象者＞ 県内に本社又は事業所を有する中小企業者（会社及び個人）

＜補助対象事業＞

デジタル技術を活用した生産工程等の脱炭素化と生産性向上の両立に資する設備を導入する取組であって、次の①～④全ての要件を満たす事業

- ① 県が実施する「中小企業等グリーン転換（GX）推進事業」においてGX推進アドバイザーが行うGX経営戦略の策定支援、省エネ最適化診断、省エネお助け隊の診断、省エネ診断拡充事業等のいずれかを受けて実施する取組であること
- ② 事業所等の付加価値額[※]の向上に資する取組であること
※付加価値額とは、営業利益、人件費及び減価償却費を合算したものの
- ③ 事業所等の炭素生産性（エネルギー起源二酸化炭素排出量当たりの付加価値額）の向上に資する取組であること
- ④ 事業の成果を県内中小企業者に波及させるために事業成果の公表に同意すること

～取組イメージ～

- ・工場の主要機械装置をエネルギー効率の良い最新の機械装置へ更新し、機械装置のネットワーク化を図り、エネルギー消費量の削減とIoTによる生産効率を向上させる取組
- ・高効率ボイラーやヒートポンプなどの高効率機器や省エネ機器へ更新することで、最適なエネルギーマネジメントを実現させ運用効率を最適化する取組 等

＜補助対象経費＞

- ・機械装置・システム構築費
- ・専門家経費 ※詳しくは裏面参照

＜事業実施期間＞

交付決定日から
令和8年2月27日(金)まで

＜申込方法・期限＞

令和7年8月25日（月）（必着）までに公募要領に記載されている提出書類一式（申込書（第1号様式・別紙1・2、3等）をメールにて工業会へ送付してください。

＜申込書の提出・問合せ先＞



一般社団法人青森県工業会 「GX推進事業担当」
〒030-0801 青森市新町二丁目4-1 青森県共同ビル7階
TEL:017-718-5399 FAX:017-723-1243 メール: system@aia-aomori.or.jp

補助金の詳細・申込書様式等はこれから⇒【<http://www.aia-aomori.or.jp/2870.html>】

＜補助対象経費（詳細）＞

補助対象となる経費であることを明確に区分でき、必要性及び金額の妥当性を証拠書類によって確認できる以下の経費です。

なお、太陽光パネル・蓄電池の購入は対象外となるほか、「人件費」及び「専門家経費」のみの事業はお申込みできませんのでご注意ください。

また、対象経費は、交付決定を受けた日以降に発注を行い補助事業実施期間内に支払いを完了したものに限りります。

経費区分	補助対象経費の説明
機械装置・システム構築費	<ol style="list-style-type: none"> ① 専ら補助事業のために使用される機械・装置の購入、製作及び備用に関する経費 ② 専ら補助事業のために使用される専用ソフトウェア及び情報システムの購入、構築及び備用に関する経費 ③ ①又は②と一体で行う改良、修繕及び据付けに関する経費 ④ 購入又は備用する機械・装置等の搬送に関する経費 ⑤ 補助事業の実施に必要な機械・装置及び情報システムの設計開発、運用及び設定に関する経費 ⑥ 機械・装置の製作及び情報システムの構築に直接従事する従業員等の人件費（直接作業時間に対するものに限る） ◆資金台帳の提出が必要となります （人件費の算出方法） 人件費基本給×補助金従事時間割合＝人件費 ・人件費基本給は、資金台帳に記載されている金額 ・補助金従事時間割合は、 補助金対象の作業に直接従事した時間÷1月あたりの全労働時間 ⑦ 既存の機械・装置の撤去及び廃棄に関する経費 （補助事業で購入する機械・装置に入れ替える場合に限る。なお、既存の機械・装置を売却した場合は、当該売却額より撤去費用が大きいときに限り、その差額分を対象経費とする） <p>※1「備用」とは、いわゆるリース・レンタルをいい、交付決定後に契約したことが確認できるもので、補助事業期間中に要する経費のみとします。 したがって、契約期間が補助事業期間を超える場合の補助対象経費は、按分等の方式により算出された当該補助事業期間分のみ対象とします。 ※2「改良・修繕」とは、購入した機械装置の機能を高め又は耐久性を増すために行うものであります。 ※3「据付け」とは、購入した機械・装置の設置と一体で扱えられるものに限ります。 設置場所の整備工事や基礎工事は含まれません。 ※4 2者以上の中古品流通事業者から型式や年式が記載された相見積もりを取得している場合のみ、中古設備も対象になります。</p>
専門家経費	<p>専門家から技術指導や助言を受ける場合に要する謝金及び旅費 ※ 旅費は当会の基準に就くことになります。指導記録等の整備をする必要があります。</p>

GX推進アドバイザーによるGX経営戦略の策定支援を受けるには

本補助金申込にあたり、GX推進アドバイザーによるGX経営戦略の策定支援を受ける事が要件のひとつとなっています。GX経営戦略の策定支援を受けるには、当会HPから「派遣申込書」をダウンロードし、当会へ送付してください。

また、GX経営戦略の策定支援のほか、「消費電力が抑えられる先端設備導入について相談したい」など「GX」についてのご相談も支援しています。ぜひ「GX推進アドバイザー」をご活用ください。

◆支援までの流れ



◆申込方法 派遣申込書に必要事項をご記入のうえ、当会へ送付してください。

脱炭素化・カーボンニュートラル関連設備導入支援事業費補助金

令和5年度補助金交付決定実績一覧

	事業者名	間接補助事業名
1	青森オフセット印刷(株)	UV印刷の効率化によるCO2削減
2	青森宝栄工業(株)	専用金型導入による使用電力削減事業
3	伊勢屋金網工業(株)	電動式フォークリフト導入による労働環境の改善と生産性の向上
4	(株)五所川原温泉ホテル	チラーユニット導入設備工事
5	(株)テックイー	省電力エアーコンプレッサー導入によるGX推進事業
6	(株)はとや製菓	金属探知機機能付きウェイトチェッカー導入による製造工程の効率化
7	(株)ホテルサンルート五所川原	チラーユニット導入設備工事
8	(株)マルヌシ	最新の高効率冷凍機および高効率熱交換器の導入
9	三浦建設工業(株)	高効率変圧器への更新による脱炭素経営への取組と溶接品質の向上
10	(株)ワーロック	塗装ロボット導入による生産性向上と生産工程のリアルタイム管理システムの構築

脱炭素化・カーボンニュートラル関連設備導入支援事業費補助金

令和6年度補助金交付決定実績一覧

	事業者名	間接補助事業名
1	伊藤食品工業(株)	工場天井LED照明器具更新による炭素生産性の向上
2	(株)お菓子工房やなぎや	自動包餡機更新による炭素生産性の向上
3	かねさ(株)	パミソ工場空調機器更新工事
4	キュウデン車輛	高精度塗料調合設備機器の導入による炭素生産性向上事業
5	協同印刷工業(株)	印刷機の更新による炭素生産性の向上
6	(有)菅沼商店	冷凍冷蔵ショーケース更新による炭素生産性の向上
7	東和管工(株)	給湯ボイラー・空調熱源機器更新によるあさひ温泉GX化計画
8	長尾印刷(株)	デジタル印刷機初導入による炭素生産性を向上させる生産体制構築
9	(有)八戸十全物産	生産量日本一の青森県産ごぼうでノンフライごぼう煎餅の生産向上
10	(株)萬鱗	老朽化した厨房機器及びエアコンの更新による炭素生産性の向上
11	(有)松山旅館	空調設備を最新機器に更新し使用電力量を削減
12	(有)マルコウ水産	冷凍機更新による炭素生産性の向上
13	三沢動物病院(株)	エネルギー効率改善機器の導入による炭素生産性の向上

株式会社はとや製菓

(食料品製造業)

- 代表者：吉田 智
- 所在地：青森市大字幸畑字谷脇69-1
- 主要製品：ホタテスープ、のっけ井茶漬、ソフトりんご、ラブリーパイ

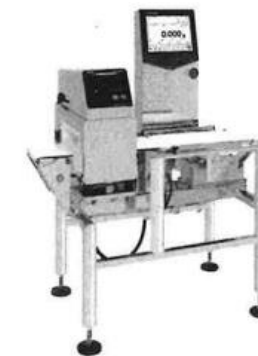
取組の背景

- ペットフード製品の異物検査の確認や重量検査等は目視及び手作業で対応しており、製品検査の自動化が遅れていた。
- 電力料金や原材料の高騰への対応、生産工程における環境負荷の低減や持続可能な経営への転換が課題となっていた。

取組の内容

金属探知機能付きウェイトチェッカー導入による製造工程の効率化

- 既存の「ペットフード生産システム」と連動して、自動で商品投入が可能な「金属探知機能付きウェイトチェッカー」を導入。
- 検査工程や検査データ及び生産管理データをクラウド化して効果的な生産管理体制を構築するため、「データ管理システム」を導入。



取組の効果（計画値）

付加価値額の向上割合：104.9% 炭素生産性の向上割合：105.2%

- 製造時間が短縮され、注文増加や市場変動に迅速に対応できるようになり、安定した供給が可能になった。
- 受注能力が拡大し、大量の注文や新規の取引先からの注文が可能になった。
- 製品品質も向上し、顧客からの信頼を獲得し、ブランドイメージが向上した。
- 市場での競争力が高まり、新しい顧客獲得と市場シェアの拡大が期待される。

株式会社ワーロック

(金属製品製造業)

- 代表者：永井 純一
- 所在地：弘前市堅田字神田399-3
- 主要製品：電気鑄造銘板の製造販売

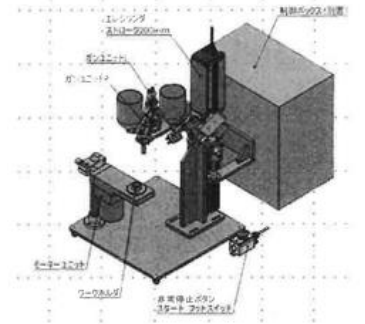
取組の背景

- 電鑄は14工程を経て完成するが、**全工程が熟練作業員による手作業**であることから生産効率向上が課題となっていた。
- 特に**塗装工程**は1個ずつの処理であるため、**生産性や歩留まりが低く、製品の納期に最も影響を与える工程**となっていた。

取組の内容

塗装ロボット導入による生産性向上と生産工程のリアルタイム管理システム構築

- 作業者が直接的に噴霧操作を行うことがない「**塗装ロボット**」を導入。
- 帳票作成や進捗一覧、作業工程の組み換え、製造状況の管理分析ができる「**工程管理システム**」を導入。各工程のタブレット画面で処理数量を入力することでホストPCをサーバーとしてデータの一元管理を実現。



取組の効果（計画値）

付加価値額の向上割合：105.7% 炭素生産性の向上割合：109.5%

- 1日8時間要していた**塗装作業時間**が2時間に削減された。
- 製造プロセスにおける生産性、品質及びコストの面において**競争力が向上**した。
- 生産工程の可視化が実現し、**各工程での作業内容の分析・改善**により**収益向上**が図られた。

キューデン車輛

(自動車整備業)

- 代表者：久田 達也
- 所在地：八戸市是川字小峠3-7-2
- 主要製品：自動車整備・車検

取組の背景

- 塗料の調合ミスによる資源の無駄遣いやVOC（揮発性有機化合物）排出量の増加といった問題を抱えていた。
- 塗料調合がボトルネックとなり、納期遅延リスクが発生しているほか、データ管理が手作業であり正確性に欠けていた。

取組の内容

高精度塗料調合設備機器の導入による炭素生産性向上事業

- 塗装色を正確に測定し、そのデータをもとに最適な塗料を調合するための専門的な「測色機」を導入。
- AIを搭載し、膨大な塗料データベースと照合することで、塗装色の最適な配合を自動で算出する「塗料システム」を導入。

取組の効果（計画値）

付加価値額の向上割合：111.0% 炭素生産性の向上割合：111.9%

- 塗装効率が15%向上し、処理台数が20台/月から23台/月へ増加した。
- 色合わせの精度が向上し、再塗装や手直しの必要性が減少した。
- 高品質な塗装仕上げと迅速なサービス提供により、顧客満足度が向上しリピーターが増加した。
- 省エネ機能を備えた設備の導入により、電力消費量が減少した。



株式会社萬鱗（いかめしや烹鱗） （飲食店）

- 代 表 者：大沼 慎市
- 所 在 地：八戸市柏崎 1-1-4 1
- 主要製品：八戸ラーメン、せんべい汁

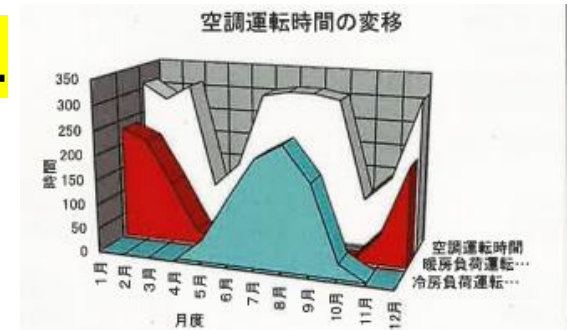
取組の背景

- 厨房機器の老朽化により、消費電力及びガス使用量が過度になっている。
- エアコンの老朽化により、厨房内の室温コントロールが困難となり、スタッフが暑い室内での作業を強いられている。
- 省エネ診断を受診したところ、厨房の熱の影響で冷房負荷が大きいことが判明した。

取組の内容

老朽化した厨房機器及びエアコンの更新による炭素生産性の向上

- 省エネ効果の高い「厨房機器」を入れ替えるとともに導線を見直し作業効率を改善。
- 「エアコン」を更新し、熱効率の向上を図りつつ、厨房の発熱をコントロールすることで労働環境を改善。



取組の効果（計画値）

付加価値額の向上割合：100.8% 炭素生産性の向上割合：113.4%

- 注文から提供までの時間を短縮したことで、顧客満足度が向上した。
- 厨房内室温の高温化を防ぎ、スタッフの労働環境を改善した。
- メニューごとの導線に配慮して厨房機器を設置し、冷蔵庫・冷凍庫を集約させることで作業を効率的に行うことができるようになった。

省エネ診断とは

省エネ専門家（エネルギー管理士等）が、**CO₂排出量の可視化**を行うとともに、排出量や費用削減に向けた**改善策（運用改善や設備投資）**を提案。

診断及び提案項目

- 設備・機器の最適な使い方
- メンテナンス方法の改善による省エネ
- 温度、照度など設定値の適正化
- 高効率機器への更新
- 排熱等エネルギーロスの改善、有効利用
- 太陽光発電など再エネ設備導入提案



診断結果のご説明

経営層やエネルギー管理者の方に、提案内容や実施方法について丁寧にご説明

- 提案内容による改善効果
エネルギー削減量、コスト削減額、CO₂削減量
- エネルギー管理に関するアドバイス

脱炭素経営による企業価値向上のポイント・メリット

<ポイント>

- 省エネ診断の受診などによる**改善点の発見**
- 高効率設備・管理システム導入などによる**工程の効率化・データ化**

<メリット>

- 品質向上・エネルギーコストの低減・生産性向上（QCD改善）
- 顧客満足度向上・ブランド力向上
- 従業員のモチベーション向上

ご清聴ありがとうございました

「青森県 GX」で検索



<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/sangyo/chikikigyo/GXsuishin.html>